

妊娠28週～36週の妊婦を対象とした

RSウイルスワクチン 予防接種を開始します



RSウイルスワクチンとは

妊婦が接種することで胎盤を通じて抗体を赤ちゃんに移行させ、生まれた赤ちゃんが生後すぐから、RSウイルスによる感染症を予防する効果が期待されるワクチンです。

感染症状	発熱、鼻水、せき（風邪様症状）～ 細気管支炎、肺炎
感染経路	飛沫(感染者の咳など)や、接触(ウイルスが付着した手指や物品を触る)などの経路から、のどや肺に感染します。
流行時期	初夏ごろから継続して増加し、夏にピークになります。
治療方法	対症療法（点滴、酸素投与など）

1歳未満で50%、2歳未満で80%が、RSウイルスに罹患しており
治療方法が少ないため、ワクチン接種で感染を予防することが大切です

令和8年4月1日から無料で接種できます

予防接種の詳細については裏面へ



RSウイルスワクチン予防接種

対象者

妊娠 28週0日目から 36週6日目までの妊婦

※赤ちゃんの出生14日以上前であることが前提

接種費用

無料(公費) ※自費接種は約3万円/1回

接種回数

1回の妊娠につき 1回接種

接種場所

医療機関 (産科及び内科等)

※詳細については、令和8年4月1日に
対象者に発送する個別通知をご覧ください

予防接種予診票について

- すでに美濃加茂市が妊婦健康診査受診票をお渡ししていて、令和8年4月1日以降に接種対象となる方には、住民票の住所地へ4月1日に予診票を送付します。
※令和8年4月1日～8日のうちに接種を希望する方は、3月19日以降に下記連絡先までご相談ください。
- 母子健康手帳の交付、転入等により、令和8年4月1日以降に妊婦健康診査受診票をお渡しする方には、その際に予診票もお渡しします。

以下に当てはまる方は、接種前に産婦人科主治医との事前相談が必要です

- ◆ 妊娠高血圧症の発症リスクが高いと医師に判断された方
- ◆ 妊娠39週にいたるまでに妊娠終了を予定する方で、その14日前以降に接種を行う場合
- 令和8年3月31日以前に接種を希望する場合は、全額自己負担による任意接種となります。
- 県外の医療機関で接種を受ける予定の方は、令和8年3月19日以降に、下記までお問い合わせください。

問合せ

美濃加茂市健康こども部 健康課 総務係

〒505-0010 美濃加茂市健康のまち一丁目2番地

みのかも健康プラザ内 美濃加茂市保健センター

TEL:0574-66-1360 (平日 8:45~16:45)

